

学位論文審査基準

【機械】

工学研究科 機械工学専攻

理工学研究科 機械工学専攻

項目	課程/論文	基準
主論文を構成する論文の条件	課程博士	査読付き学術雑誌に第一著者として 2 編以上の掲載済みもしくは掲載決定済みの業績があること。
	論文博士	査読付き学術雑誌に第一著者として 4 編以上の掲載済みもしくは掲載決定済みの業績があること。
博士学位にふさわしい学力確認の基準(学位論文の内容に係る審査条件)	課程博士	学位論文に係る機械工学の分野について口頭試問を行い、十分な学力があることを確認する。
	論文博士	
国際化に対応する研究者としての能力確認の基準	課程博士	国際化に対応する研究者としての能力について口頭試問を行い、十分な能力があることを確認する。ただし、英語論文の投稿・発表等があれば、口頭試問に替えることができる。
	論文博士	
在学期間短縮に係る基準	課程博士	査読付き学術雑誌に第一著者として 4 編以上の掲載済みもしくは掲載決定済みの業績があり、特に優れた業績があると認められた場合、在学期間を短縮することができる。申請にあたっては、指導教員の理由書の提出を必要とする。